

新しい日常における地域の学びについて（地域学習支援課）

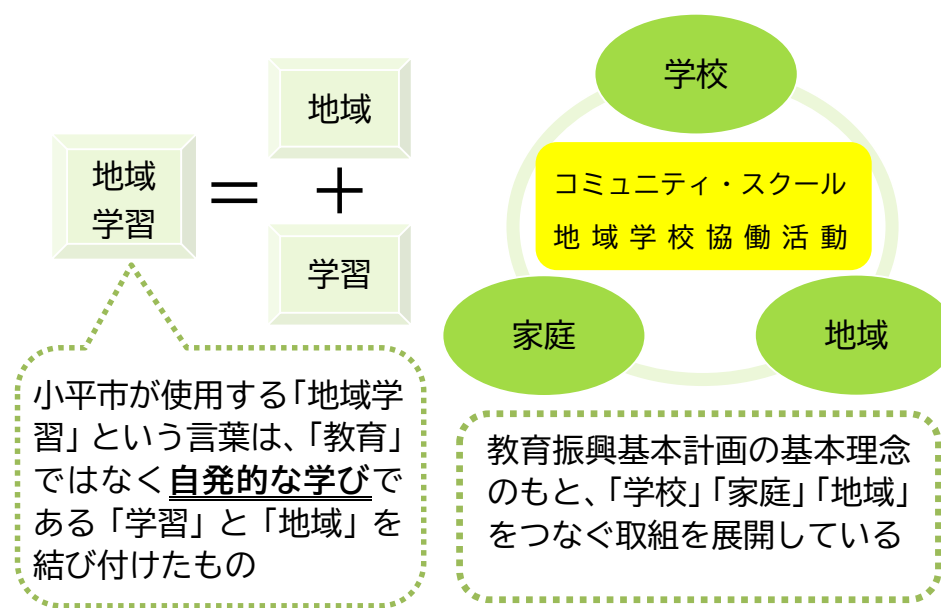
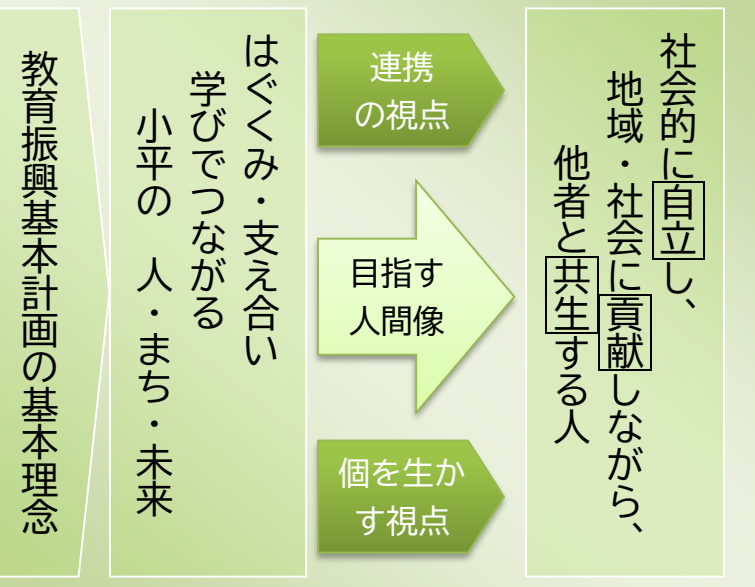
これまでの主な影響

- 【事業の中止】
- 令和元年度：2/23 ヤングダンスフェスティバル、
 - 令和2年度：8/5～6 広島平和学習事業、10/25 青少年音楽祭、1/8 中学校生徒意見発表会、青少年リーダー養成講座（全12回）など
- 【地域活動の休止】（2/27 政府からの全国休校要請）
- 3/2～活動休止⇒放課後子ども教室（～6/22）、地域教育サポート・ネット（～6/1）、青少年委員（～6/5）、校庭遊び場開放（～6/22）、六小施設開放（～8/1）
 - 青少対（今年度全事業中止地区もある）、PTA（今年度小・中連合会事業は全て中止）

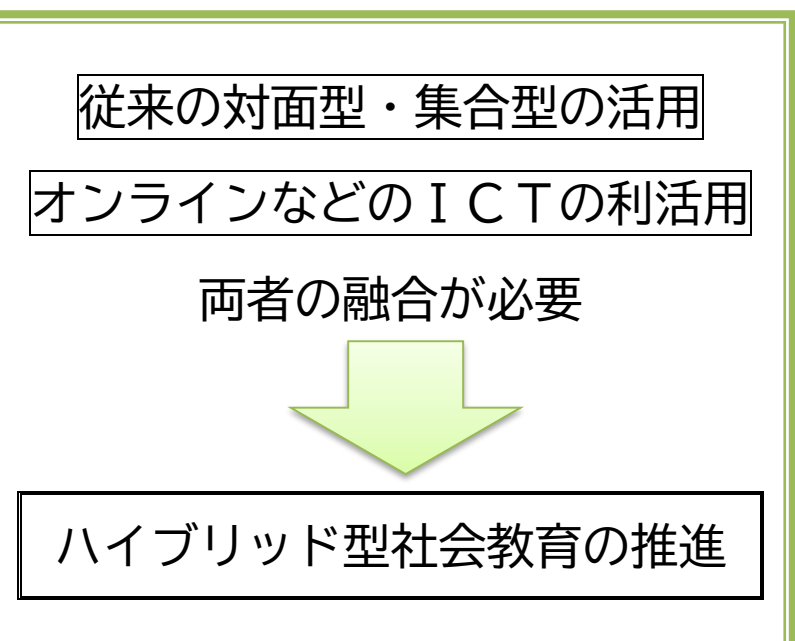
再開後の対策・工夫など

- 小平市立学校版感染症予防ガイドラインに沿って事業展開
 - ⇒ 放課後子ども教室、地域教育サポート・ネットなど
- 2部制に分けて3密を回避、時間短縮、縮小などの工夫
 - ⇒ 成人式やヤングダンスフェスティバル、青少対による見守り活動、PTA 理事会等
- オンライン会議による活動など
 - ⇒ 成人式実行委員会、青少年委員会、社会教育委員の会議、三市学芸大学連携講座
 - ⇒ 青少対など地域の方に向けて「ウェブ会議アプリ入門講座」の実施
- 動画配信などの工夫
 - ⇒ 青少年リーダー養成講座の実施（うどんの作り方）

教育振興基本計画の理念から



教育振興基本計画の理念を実現し、自発的な学びや地域の連携を止めないために



現在の取組状況と今後の課題

取組状況

- 【従来の対面型・集合型の活用】
 - 感染対策を講じた対面型・集合型学習への参加
- 【オンラインなどのICTの利活用】
 - オンライン学習・講座・参加

効果

- 人との出会いによる（五感を使う）学びの機会
- 共同学習による相互の学習意欲向上
- 時間・場所にとらわれず学習が可能
- 移動困難な方々（高齢者、障がい者等）の参加

課題

- 十分な感染予防対策が難しい
- 時間・場所の制限がある
- 学びっぱなし（一方通行）になる可能性
- 地域の学びとのつながりにくさ

展望

- オンライン学習と感染対策を講じた対面型・集合型学習を有機的に組み合わせ、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動と連携する。
- オンラインによる個人学習を推進し、学習者が自ら選択し学習しやすい環境づくりを促進する（個別最適学習）。
- 個人学習後の集合型学習を有機的に組み合わせ、アクティブラーニングを実現する。
- 生涯学習の狙いである「学習の成果を適切に生かす」ために、学習者が学校・地域と連携し活躍できる場を提供する。